公益財団法人　渥美国際交流財団
2021年度奨学生秋季研究報告会

# 当日の写真

総合司会の角田事務局長（左）と
開会挨拶をする渥美直紀理事長（右）

会場の様子

2021年度渥美奨学生秋季研究報告会は、財団ホールとオンラインのハイブリットで開催されました。

2021年度渥美奨学金受給者で本年度中に博士号を取得する予定の7名が、奨学期間中の研究成果を報告しました。7名の内6名が対面で、1名がオンラインで発表し、指導教官の先生方や財団理事からコメントをいただきました。

また、春季研究報告会で発表が終わっている2021年度奨学生と2022年度奨学生が司会やタイムキーパーを務めました。

指導教官の森正稔先生（左）と財団理事の劉傑先生（右）よりコメントをいただきました。

司会の李趙雪さん（右）とタイムキーパーの
ザヘラ モハッラミプールさん（左）

詹 亜訓さんの発表
「社会問題と帝国問題の連鎖―帝国主義論と民衆の政治的主体化を手がかりに」

司会の廣田千恵子さん（上）と
タイムキーパーの丁乙さん（下）

指導教官の小島毅先生（左）と王杏芳さんの指導教官 刈部直先生（右）よりコメントをいただきました。

蒋 薫誼さんの発表
「清代中国における徂徠学 の受容――十八・十九世紀の漢籍逆輸入を中心に」

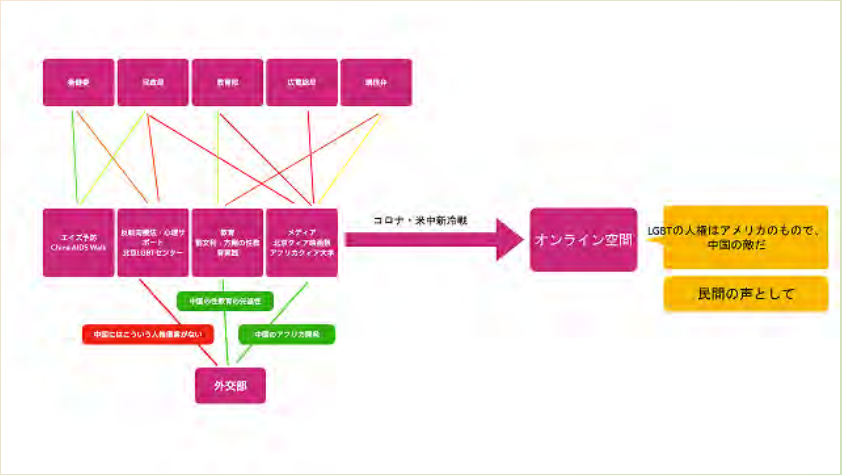
指導教官の吉田寛先生（左）と財団理事の平川均先生（右）よりコメントをいただきました。

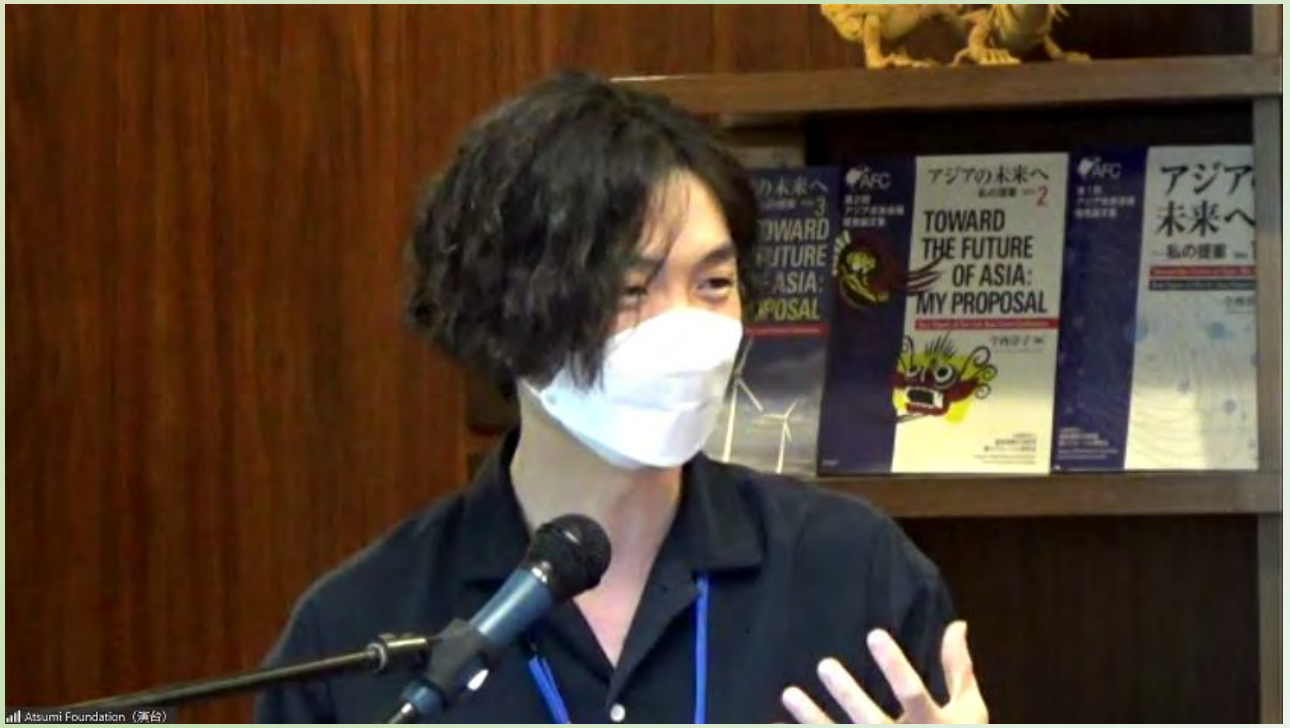
司会の朴峻喜さん（右）と
タイムキーパーの安ウンビョルさん（左）

曹 有敬さんの発表
「20世紀音楽におけるコラージュのポエティクスとポリティクス
――1960年代、70年代の理論と実践における「アンガージュマン（Engagement）」の諸相」

指導教官の阿古智子先生（左）と財団理事の劉傑先生（右）よりコメントをいただきました。

司会の武内今日子さん（右）と
タイムキーパーのマリア プロホロワさん（左）




郭 立夫さんの発表
「中国における性的マイノリティの社会運動と性の政治」

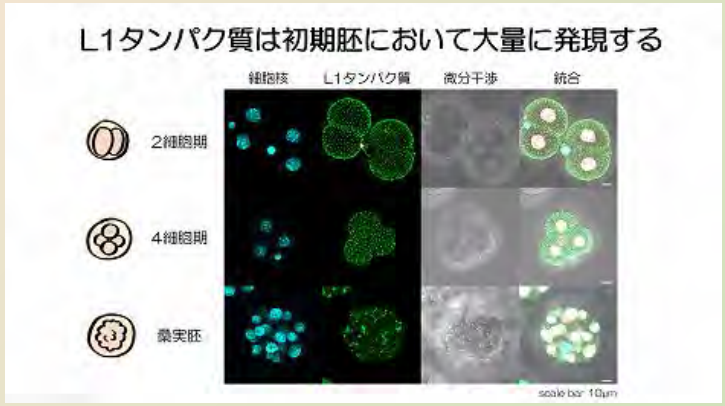
指導教官の松田陽先生（左）と財団理事の平川均先生（右）よりコメントをいただきました。

司会の趙炳郁さん（右）と
タイムキーパーのノーラ ワイネクさん（左）

李 貞善さんの発表
「記憶の場としての国連記念公園：戦争墓地の文化遺産化」

指導教官の塩見春彦先生（左）と財団理事の片岡達治先生（右）よりコメントをいただきました。

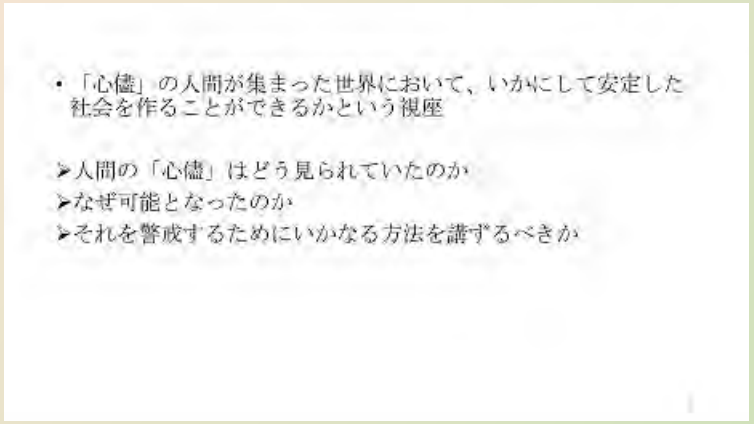
司会の陳虹宇さん（右）と
タイムキーパーの加藤健太さん（左）



李 典さんの発表
「TDP-43は胚ゲノムをL1の転移から守る」

指導教官の刈部直先生（左）と財団理事の片岡達治先生（右）よりコメントをいただきました。

司会のヒルマンさん（右）とタイムキーパーの
ザヘラ モハッラミプールさん（左）



王 杏芳さんの発表
「心儘ノ世界」と政治思想―近世日本における徂徠学から朱子学への転回」

最後に渥美伊都子顧問より閉会挨拶がありました。

休憩時間の様子

休憩時間の様子

報告会終了後のお弁当の様子

ご参加くださった先生方、どうもありがとうございました。
2021年度奨学生のみなさんのご活躍を期待しています！